

令和3年度(2021-2022) 12月度 商工会理事委員会 議事録

日 時： 令和3(2021年) 12月14日(火) 13:00 ~ 13:40

開催形式： ハイブリッド形式

出席者： 名誉会長、理事委員14名、名誉会員1名、正会員3名、
非会員1名、事務局長(うちWeb会議参加者13名、対面参加者8名)

欠席者： 理事委員6名(うち会長委任5名、代理委任2名)

司 会： 酒井一宏 幹事

1. 商工会会長連絡 (川上篤樹 会長)

①スポーツの話題から、11月23~29日、中南米を含めてアメリカ大陸では初めての世界卓球選手権大会がここヒューストンにて開催され、世界56カ国から265名の選手たちが参加した。夏の東京五輪でも活躍した日本の主力選手を含む日本勢はダブルスを中心に複数の銀、銅メダルを獲得、中国は合計5種目のうち4種目で金メダルを獲得し、圧倒的な強さを見せつけられる結果となった。一方で先週月曜に米国は中国政府による新疆ウイグル自治区でのジェノサイド(集団虐殺)などを考慮し、来年2月の北京冬季五輪に外交使節団を派遣しない外交ボイコットを発表し、イギリス、オーストリア、カナダがこれに追随した。中国の人権問題、経済・政治の覇権をめぐる米欧対中国の対立・摩擦がついにスポーツにまで影響を及ぼす結果となっており、今後の中国-米欧関係が世界政治、経済にどのような影響をもたらしていくのか注視が必要である。

②米国全体のコロナ感染件数は9月中旬から10月末にかけて減少傾向にあったが、感謝祭前の2週間で約25%急増した。また、11月25日にはオミクロン変異株が発見され、世界中で急速に感染が拡大、昨日時点で米国、日本を含む63カ国での感染が確認されている。テキサス州でも感染者が見つかり、16日より日本入国の際に三日間の指定宿泊施設での隔離対象に追加された。他方、オミクロン株の出現以降、株価も大きく上下しているが、従来の変異株に比べ重篤化しにくいとの情報などにより株価は持ち直してきている傾向である。また、石油価格WTIもここ1ヶ月で大きく上下しており、他要素も含めた今後の経済動向には引き続き注視が必要な状況かと考える。

③米国の政治関連では、12月に入り世間はホリデーシーズン一色となった一方で、バイデン政権にとっては年内の可決を目指す重要法案が目白押しとなっており、年末も気の抜けない1ヵ月となっている。連邦政府のつなぎ予算の延長法案、連邦政府の借入限度額を定めた債務上限の引き上げに関する特例法案、そして特にバイデン政権の看板公約にもなっている”Build Back Better Bill”など、如何にこれらの法案を年内に成立できるかが今後の円滑な政治運営のカギを握っていると言える。

④テキサス関連のニュースとしては、韓国のサムスン電子がオースティン近郊のテイラー市に半導体工場を新設することを発表した。同社はオースティンを選んだ主な理由として充実したインフラ環境等を挙げており、1,200 エーカーに及ぶ土地や建物を含めた総投資額として170億ドルを見込んでいます。昨今、西海岸に比べて割安な生活コストや低い税率等を背景に、テスラ等の米国を代表する企業が本社をテキサス州に移すことを発表しており、テキサス州に益々注目が集まっていると言える。

2. 総領事館連絡 (村林弘文 総領事)

①11月23日にヒューストンに着任した。これまで外務省の勤務で約10カ国、また米国においては3カ所で計10年の勤務経験がある。今回4度目の米国赴任先が初めて南部となり、米国内で政治的にも経済的にも重要性が高まっており、勢いのあるテキサス州でこれから仕事ができることを非常に楽しみにしている。当地においては日本企業も在留邦人の数も増える傾向にあり、現地との交流も含め当地で活発に活動されている商工会の皆様と共に、今後ぜひ一緒に盛り上げていきたいと考えている。

②安全関係の情報として、最近、ダウントウンのビルや郊外にあるアパート等の駐車場で、車の触媒コンバーター

の盗難被害がかなり頻発しているので、ご注意いただきたい。

③オミクロン株の感染状況については、12月12日(日)の時点で、テキサス州全体で38件(うち5件は当局が公式に認定し発表した数字、33件は病院等が独自で解析して発表した数字)となっていた。38件のうち、36件はヒューストン及びその近郊、2件はダラス近郊のプリスコとなっている。総領事館から送ったこのデータと州の人口比から一定以上の拡散状況になったことを日本政府が判断し、テキサス州が12月16日午前0時より日本入国時に3日間の待機措置の対象とされることとなった。13日には、さらに5件(うちオースティンが3件、サンアントニオが2件)が追加され、実際にはテキサス州全土にオミクロン株が相当広がってきているものと思われる。他方、ヒューストン市当局によると感染の99%はデルタ株であるということで、とりあえずはマスク着用を励行するなど従来の防疫措置を呼び掛けている状況である。(齋藤 厚 領事)

3. 幹事報告 (酒井一宏 幹事)

*教育委員長の交代について

来年1月よりヒューストン日本語補習校運営委員長が伊藤嘉則氏(Mitsubishi International Corporation)から中尾茂樹氏(Mitsui & Co. (U.S.A.), Inc.)へ交代するに伴い、川上会長により中尾氏が新教育委員長として任命された。

4. 他団体対応・日本庭園関連報告 (名川 譲 特命理事)

*日本庭園清掃

毎年秋に行っていた日本コミュニティーボランティアによる日本庭園清掃を、2年ぶりにハーマンパーク内の日本庭園にて12月4日、日米協会とハーマンパーク管理団体主催で行った。当日の参加数は上限の65名に達し、ヒューストンに着任されたばかりの総領事ご夫妻をはじめ、商工会、日本人会、日米協会らの関係者とご家族にご参加いただいた。ハーマンパーク管理団体の指導により必要な箒や熊手などの道具がすべて用意され、チームに分かれ雑草取り、落ち葉拾い、植樹や茶室の清掃など行った。来春、日本庭園が設立30周年を迎えるにあたり、この機会に地域の方々が日本庭園にお立ち寄り下さることを願っている。

*日米協会主催のビジネスセミナー

今年7月より月例で開始した2021 Texas-Japan Business Leaders Roundtable は、ビジネス経営層向けセミナーとして、テキサス州と日本の産業界リーダーに対する新たなビジネス機会やイノベーションへとつながる交流の場(オンライン)を提供することを目的としている。第5回は、12月16日(木)正午より、Tokyo Electron US Holdings, Inc の President である Lary Smith 氏をスピーカーにお迎えして開催する。同社がどのようにしてチップ需要の急増に対応し、半導体生産の拡大に貢献しているかについてお話いただくので、ぜひご参加いただきたい。プログラムの詳細と参加のお申し込みについては、[日米協会のサイト](#)上でご確認いただきたい。

5. 委員会・部会関連事項

①スポーツ委員会

*ソフトボール大会開催について (渡辺英世 正会員; 生田哲士 副会長兼スポーツ委員長代理)

2022年度のソフトボール大会は、4月17日(日・Easter)に開催、雨天時の予備日は5月30日(月・Memorial Day)とすることを想定し、準備を進めている。但し、予定していた従来の会場が来週廃業する旨の通知を先月下旬に受け取り、支払った\$1,500のデポジットは年明けには返金される見込みであるものの、まだ流動的である。現在、代替会場として4/17、5/30とも空きのある候補を1ヶ所見つけており、費用などの詳細を確認中である。会場・運営方法とも2019年度までの開催とは変わる可能性が高いが、1月度常任委員会にて詳細につきご報告させて頂く予定である。

*第571回テキサス会「商工会会長杯」ゴルフコンペについて (山村 智 エネルギー部会長)

来年1月の後半から2月に開催を予定していたテキサス会ゴルフ「商工会会長杯」については、川上会長と武智日本人会会長の了解を得て2月27日(日)を開催日とし、準備を進めていく予定である。会場については、現在、数ヶ所の候補地と交渉を進めており、価格はもちろんのこと、感染予防対策の一環として屋外での表彰式・食事ができるという条件も重要なポイントとして選定作業を行っている。詳細が決定次第、事務局を通してご案内するので、奮ってご参加いただきたい。

②文化委員会

*ピクニック開催について（鈴木 一 文化委員長）

来年のピクニックについて、副幹事の三菱商事様、事務局と打合せをした結果、理事委員の皆様のご賛同をもって2022年3月27日（日）に実施するべく開催日程を確定したい。3～5月で会場である Jones Ranch が貸し切り状態で空いているのは同日のみであり、準備には数ヶ月掛かることから、実施に向け早急に準備を進め、年明けには業者へのコンタクト、輪番でお願いする幹事会社に連絡などを始める予定である。一方、コロナ感染状況については、オミクロン株の影響で心配な状況ではあるが、今後、ワクチン接種が子供にも進むと思われ、日本語補習校も9月より対面授業を無事再開していることから、感染予防対策を行った上で安全に開催できるよう検討していく。尚、開催場所の Jones Creek Ranch Park は数年前 Public Park になり、2023年以降は貸し切りでの使用ができなくなるため、再来年には開催場所の検討が必要となってくる。

6. 事務局関連事項（小林浩子 事務局長）

①年末年始の三水会センター休館日

休館日：2021年12月24日（木）～ 2022年1月3日（月）

②「在米邦人・日系人向けCOVID-19関連ポータル情報サイト」の運営継続について

在留邦人・日系人コミュニティの感染拡大防止策やビジネス環境づくり支援に貢献するため、外務省の助成金を受けて開設に向けて準備を進めていた全米商工会のポータルサイトが6月に正式にオープンした。同サイトは、当初の目標数を超える訪問者数を達成し、邦人が海外での安心、安全な生活を送るにあたり、一定の成果を収めたと認識されている。当初の予定では今年12月までの運営となっているが、コロナ禍が長期化するなか、同サイトを2022年1月から1年間延長して継続運営することを全米商工会グループ代表が提案し、関係団体に対し賛同を打診されている。当会は、同サイトの運営に当初より賛同していること、テキサス州からのアクセスが第二位で相当程度の恩恵を受けていること、負担金額が月額100ドル前後であり予算上影響ないことなどを主な理由とし、本員会にて協議の結果、同提案に賛同することとする。

③会員消息

本日現在の会員数は、名誉会員10名、正個人会員750名（正団体会員数：110社）、準会員43名で、総会員数は803名となっている。

以上。